

情報公開文書

課題名： 当院における急性胆管炎の治療成績

研究期間： 臨床研究審査委員会承認日～2031 年 12 月 31 日

研究開始予定日：臨床研究審査委員会承認日～

1. 研究の対象

2020 年 1 月から 2030 年 12 月までの間に、当院で急性胆管炎の診断で入院加療を行った患者さん。

2. 研究目的・方法

急性胆管炎は胆汁うっ滞と胆汁中の細菌増殖によって生じる胆管内の急性炎症であるため、その治療には抗菌薬治療とともに、胆管内に溜まった胆汁を排液する胆管ドレナージが重要となります。また軽症の胆管炎は抗菌薬治療のみで軽快することが多い一方で、重症例では胆管ドレナージの適切なタイミングを逃すと敗血症や臓器障害により致命的となることがあります。したがって急性胆管炎と診断した際には初期治療を開始するとともに、速やかに重症度診断を行い、成因や重症度に応じて胆管ドレナージの必要性やタイミングを検討する必要があります。本研究では当院において急性胆管炎症例に対して治療を行った患者さんの診療情報を電子カルテから収集、分析し、その診療内容や治療成績を評価、検討することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部

情報：年齢、性別などの基本情報、病歴、治療歴、治療成績、偶発症等の発生状況

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

浜松医療センター 消化器内科 鈴木 安曇(研究責任者)

住所：静岡県浜松市中区富塚町 328

電話：053-453-7111(病院代表)